

イノベーション・マネジメント

社会の変化に伴い、求められる技術も変容しますが、時代の変化を適切にとらえたマネジメントを実行し、社会価値を生み出す技術を提供していきたいと考えています。そこでNECでは、CTO（チーフテクノロジーオフィサー）のもとで、社会価値創造の次なる成長に向けた技術戦略を策定し、売上収益の4%程度を継続的に研究開発費にあて、NECが有するNo.1 / Only 1のコア技術へ集中投資しています。

また、知的財産を、NECグループの事業競争力や事業安定性、さらにはお客さまとの共創に資する重要な経営資源と位置づけ、権利の強化と保護を推進しています。

さらに、既存ビジネスの枠組みを超えた技術の事業化や、グローバルなオープンイノベーションを積極的に推進し、競争力のある技術のマネタイズの加速に取り組んでいます。

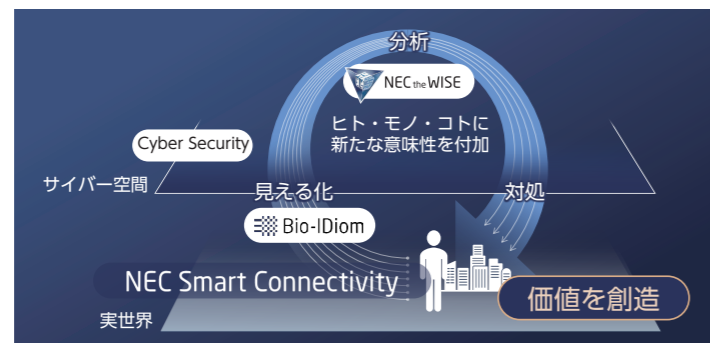
強みのある技術領域へ集中投資

独自性や競争優位性のある技術アセットを数多く有している、データサイエンスとICTプラットフォームの2領域に集中投資を行っています。

データサイエンス領域では、実世界のデータの見える化・分析・対処を行うことで、新たな価値創造に貢献するAI技術の開発に取り組んでいます。また、ICTプラットフォーム領域では、実世界の変化にリアルタイムでダイナミックに対応できるコンピューティング技術やネットワーク技術に加えて、社会システムをセキュアに安定稼働させるためのセキュリティ技術の開発に取り組んでいます。

最先端AI技術群のブランド「NEC the WISE」や、顔、虹彩、指紋・掌紋、指静脈、声、耳音響の6つの生体認証技術を活用した生体認証製品・サービスの統一ブランド「Bio-IDiom」の強化はこの一環です。

2019年4月には、NECのネットワーク技術の強みを活かした新ブランド「NEC Smart Connectivity」を立ち上げました。実世界の見える化・分析・対処技術に加え、膨大なデータを「つなぐ」ネットワークも、お客さまへの価値提供に際して、今後大きな役割を担うと考えています。



コア技術強化のためのダイバーシティ強化と人材育成

社会ソリューションに有効なコア技術強化と技術力継続のために、注力領域へ人材を集中させるとともにダイバーシティの強化をはかっています。

具体的には、中央研究所のデータサイエンス・バイオメトリクス領域の研究者数を2015年度比で倍増させる方針のもと人材を拡充しているほか、海外の各研究所では

各地域のトップ人材を積極的に採用し、国内では博士採用を増強しています。次年度も新規採用の半数近くを博士採用とする方針であり、インド工科大学など海外大学院からの採用も増強します。これらの施策により、新規採用の3~4割がグローバル人材となっています。



知的財産戦略

NECでは、特許権やノウハウはもとより、グローバルブランドを支える意匠権や商標権の強化と保護を推進しています。

また、社会価値を創造し発展させていくために、知的財産権による参入障壁の構築や競争優位性の担保だけ

でなく、お客さまやパートナーとの連携を強化し、守るための知的財産網の構築や活用も進めています。

2019年3月現在、NECは、国内外合わせて約49,000件（うち、国内約22,000件）の特許を保有しています。

新事業開発を加速

技術の事業化をさらに加速するため、2018年7月に米国シリコンバレーに新設したNEC X社は、NECの人材と研究所の最先端技術を核として、シリコンバレーの企業家やベンチャーキャピタルといった外部の関係者を巻き

込んだ共創型ソリューションの開発を推進しています。その推進の一環として、新事業開発の加速を狙い、最短1年で新事業を立ち上げることを目指す「NEC アクセラレータープログラム」を開始しました。

詳しくはサステナビリティレポート2019「イノベーション・マネジメント」をご覧ください。